

令和 5 年 5 月 7 日現在

機関番号：30105  
研究種目：基盤研究(C)（一般）  
研究期間：2018～2022  
課題番号：18K00378  
研究課題名（和文）「個人」から「政治」へ 現代英語圏の女性向けポピュラーフィクションの可能性を探る

研究課題名（英文）From "The Personal" to "The Political": Exploring Potential of Contemporary Popular Fiction for Women

研究代表者  
英 美由紀（Hanabusa, Miyuki）  
藤女子大学・文学部・教授

研究者番号：40623830  
交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究課題は、第二波フェミニズム以降、現在までのポピュラー・フィクションとフェミニズムの関連を体系的に捉えたうえで、現代女性が直面する問題や困難がフィクションを介して女性全体の問題として共有され、フェミニズムに接続される可能性、つまりフィクションがフェミニズムに対して持ち得る可能性を探るものである。

研究成果の学術的意義や社会的意義  
本研究課題の成果は随時、国内外の学会・学会誌等で発表した。国内外の研究者との学術交流は本研究の推進に有用なものとなった。

研究成果の概要（英文）：This research project discusses contemporary popular fictional genres such as chick lit. While portraying female protagonist's quest for romance and appearing to reinforce heterosexual and patriarchal values, these genres also include feminist concerns such as the pursuit of professional careers and a successful work-life balance. The purpose of this research is to examine a selection of texts from the late 1990s to the 2010s, which reflect upon the social advancement of women and socio-cultural change that has been promoted during the period. This project argues that these texts voice the difficulties and challenges women face at the same time as they explore effective means to solve them and serve, as well, as a potential medium to share such experiences with readers.

研究分野：英語圏文学

キーワード：ポピュラー・フィクション ポスト/フェミニズム

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

「フェミニスト小説はフェミニズムによって生み出されたが、同時にフェミニズムを生み出してもいた」とかつて **Gayle Greene (1991)** が述べたように、第二波フェミニズムの思想は **Erica Jong** や **Marilyn French** らの小説を通じ、大衆向けの形で幅広い読者に広まった。ポピュラー・フィクションをフェミニズムとの相互関連から捉える研究は、その後 **Imelda Whelehan (2005)** のような研究者によって、**1990** 年代のイギリスに端を発し、後に各国に広まった女性向けポピュラー・フィクション **chick lit** にまで拡大され、ポストフェミニズムの風潮と関連づけられるようになった。代表的なテキストには **Helen Fielding** の *Bridget Jones's Diary* (**1996**) が挙げられる。

職業キャリアとロマンスをとともに追求する **chick lit** の主人公の姿は、第二波フェミニズムが性別役割分業撤廃の一端として女性の雇用の機会均等を推し進めるべく整備拡充してきた関連諸制度の恩恵に与りながら、その結果として公私両面の充実という二重の要請に直面することになった現代女性のジレンマを示唆してもいよう。一方、多くの女性読者と国際的な市場を獲得したこのジャンルには、問題の共有や議論の広まりの潜在可能性も感知された。そこで本研究は、この文学ジャンルに、「個人」として分断されがちな現代の女性を連帯や「政治」に接続する媒体としての可能性を探ることにした。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、しばしば同時代におけるポストフェミニズムの保守的風潮と関連づけられながら否定的に捉えられてきた、**chick lit** のこれまでの研究動向を一部見直すことであった。その際、前出の **Fielding** 作品が「バックラッシュの葛藤を暴露する批判的性質」も持つという見方を示した小川公代氏(**2014**)らの論考を参照することとした。

また本研究は、「女性を主人公とする、女性による、女性のための小説」(**OED**)と定義され、多数の女性読者と国際的な市場を獲得しているこのジャンルが、前項に述べたようなジレンマを女性全体に関わるものとして(再)提示し、その女性間での共有が連帯や政治へと接続される潜在的な可能性、言い換えればポピュラー・フィクションがフェミニズムに対して持ち得る可能性を探ることも目的とした。ここでは、読者受容に重点を置くポピュラー・ロマンス研究の系譜を参照することにした。

さらに、このジャンルに相当すると考えられる日本のポピュラー・フィクションとの

比較研究に発展させることも目的であった。齊藤美奈子氏(2002)に概念化され、フェミニズムとの関連を指摘されたジャンル「L文学」に、英語圏のジャンルとの共通性の一方、日本に特有の問題も見受けられると考えたためである。

### 3. 研究の方法

小節のジャンル研究や、そこでの読者の位置づけに関する議論、フェミニズム史などを参照しながら、テキストの分析考察を行った。

### 4. 研究成果

- (1) 本研究課題の背景として、1960、70年代の英語圏のポピュラー・フィクションとフェミニズムとの相互関連に遡って概観したうえで、**chick lit** やそのサブジャンルを同時期のポストフェミニズムの風潮、またその背景をなす社会経済状況(ポストフェミニズムと親和性が高いとされる新自由主義経済)といった時代の文脈に位置づけた。
- (2) そのうえで、**chick lit** を代表する作家とみなされてきた作家の2000年代のテキストを取り上げ、そこにこのジャンルの定式を超える側面を見出しながら、このジャンルの多様性とポストフェミニズムの多義性を主張した。またこのジャンルは身体管理や美の追求を顕著に示す傾向があるが、これについては **Rosaline Gill (2007)** らによる、ポストフェミニズム時代における(個人の財としての)身体への焦点化の議論などを参照した。
- (3) 「L文学」を **chick lit** のアダプテーションと位置づけ、それを日本の社会歴史的な文脈にも置きながら、両ジャンルの相違を論じた。この研究は国際学会での発表を経て、国際共同研究に発展し、その成果が書籍化された。(2)と同様、ジャンルを媒介した女性読者間における問題の共有、連帯への発展の可能性とも併せて、小説テキストを考察した。
- (4) 文学とフェミニズムを媒介する「出版」の問題に取り組んだ。1970 - 80年代イギリスにおける「フェミニスト出版社現象」を振り返り、同時期に創業した出版社中唯一今日まで存続する **Virago Press** に焦点を当て、同社が女性文学の再興やフェミニズム批評に果たした役割を、同社の代表的な出版物である **Modern Classics Series** 等に跡づけた。一方、同社の大手参加への編入後の経緯や変化についても考察した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 英美由紀	4. 巻 9
2. 論文標題 「『フェミニスト出版社現象』を振り返る ヴィラゴ・プレスを中心に(2)」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 藤女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 1 - 16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 英美由紀	4. 巻 58
2. 論文標題 「『フェミニスト出版社現象』を振り返る ヴィラゴ・プレスを中心に(1)」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ヴァージニア・ウルフ研究	6. 最初と最後の頁 45-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 英美由紀	4. 巻 37
2. 論文標題 「チック・リットとKathy Letteの『クロスオーバー・テキスト』」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 藤女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 46-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 英美由紀	4. 巻 11
2. 論文標題 「Fay Weldon, Death of She Devil 第二波フェミニズムの軌跡と課題」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『英文學研究 支部統合号』	6. 最初と最後の頁 31-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20759/elsjregional.11.0_001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件（うち招待講演 2件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 英美由紀
2. 発表標題 「女性の身体の外見をめぐるフェミニズムの議論と文化表象」
3. 学会等名 奈良女子大学文学部言語文化学科ジェンダー言語文化プロジェクト講演会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 英美由紀
2. 発表標題 「『ルッキズム』 女性美をめぐる理論と表象から」
3. 学会等名 お茶の水女子大学IGSセミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Miyuki Hanabusa
2. 発表標題 'Contemporary Women's Dilemma About Work-Life Balance: Japanese "Mommy Lit," its Limitations and Possibilities'
3. 学会等名 Contemporary Women's Writing Association 2018 Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 Irene Perez Fernandez and Carmen Perez Riu (eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Peter Lang	5. 総ページ数 324
3. 書名 Romantic Escapes: Post-Millennial Trends in Contemporary Popular Romance Fiction	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
スペイン	Univarsidad de Oviedo			